

23. 現場力を高める IE 手法 I 「演習で身に付くカイゼン活動」

生産効率カイゼン担当者の育成及びスキルアップを目的とした講座です。カイゼン活動を有効かつ効率的に進める知識・技術・手法に《IE=インダストリアル・エンジニアリング》があり、その考え方を身に付けていただきます。IE の考え方、カイゼンの基本 Step、カイゼン技術を演習で習得し、「元気で活力ある現場作り」を目指すキーマン育成講座です。

Point!

- 動画を用いた演習で問題発見
カイゼン提案発表で身に付ける



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構
 参加費：MRO 賛助会員 6,000 円（一般：12,000 円）
 会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110
 募集人員：15 名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程（2日間コース）

研修内容

9/22(金) 9:00 ~ 16:30	☆アイスブレイク ブレインストーミングのルール I. 課題とは何か 1. 目指すべきは 2. 問題と課題の関係 3. 帰納法と演繹法の違い ★演習① 問題意識	II. 仮説で真因に迫る《モノを見る力・発見力》 1. 発見力 2. 仮説を持つ 3. 関心を持つ 4. 見える力の大原則 5. モノを見るための Step ★演習② 仮説検証 ★演習③ 仮説を立てる	III. IE とは 1. IE の二つの活動 2. IE の二つの目的 3. パフォーマンスロスの発見 4. 分析手法例 5. カイゼン技術の活用例 6. カイゼンの Step 事例 7. 科学的アプローチと我流の違い 8. Method エンジニアリングの二つのアプローチ
9/29(金) 9:00 ~ 16:30	IV. ムダの構造 1. ムダとは何か 2. ダラリの法則 3. 生産効率を阻害する七つのムダ 4. ムダの方程式 ★演習④ ムダを探す V. カイゼンの原則 1. カイゼンの 4 原則・ECRS 2. 5W1H 3. 動作経済の原則	VI. IE 手法各論 1. 生産形態間の関連 2. ロスの定量化手法 3. 要素作業・分割の考え方 4. 工程の位置づけ ★演習⑤ ワークユニットに展開 5. 編成バランス 6. 計算例	7. カイゼンのルール ★演習⑥ 編成効率の計算とカイゼン 8. フロープロセスチャート ★演習⑦ そば屋のカイゼン ★演習⑧ タイムスタディー 9. 連合作業分析 ★演習⑨ 連動作業分析を使ったカイゼン 10. アッセンブリーチャート ★演習⑩ ハンバーガー製造工程のカイゼン

*講師プロフィール

高橋智昭（MRO コーディネーター） 工学院大学（電子工学科）卒
 経歴：電気・音響業界 カメラ業界 自動車部品業界等を経験、最後は化粧品業界、生産技術一筋です。（営業経験はあります。）
 日本能率協会認定の CPE-ME を取得

● HP から直接お申し込みができます



受講料について

- 受講後に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日 1 週間前までは請求致しません。1 週間以内の場合は全額を請求いたします。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAX など記録の残る手段をお願いします。注）1 週間：MRO（当財団）の 6 勤務日前 17 時までとします。

- 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 tel : 0276-50-2100、fax : 0276-50-2110
 E-Mail : mrokenshu(at)mro.or.jp ※(at) を @ に変えて送信してください。

23. 現場力を高める IE 手法 I「演習で身に付くカイゼン活動」受講申込書

ご芳名（ふりがな）：	所属	役職
ご芳名（ふりがな）：	所属	役職
会社名	住所 〒	
TEL	FAX	E-Mail